

## (様式2) 平成29年度の施策に係る説明要旨(学校調整課用)

公所名 学校調整課

説明者 総括課長 小久保 智史

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
いわての復興教育の推進	「岩手の復興・発展を支える人づくり」を目指して、教育プログラム等に基づき、各学校がそれぞれの実情に応じて、「いわての復興教育」を推進する。 本年度は、沿岸12市町村の学校を対象とした「いわての復興教育スクール」(小10、中10、県立7)と沿岸被災地以外の学校を対象とした「いわての防災スクール」(小4、中4、県立9)を指定し、「実践的な防災教育を中核とした『いわての復興教育』」を推進する。本年度は、「いわての復興教育スクール」の中から2地区を「地域連携型」として指定している。(宮古、久慈)また、5年目になった「岩手県防災教育研修会」は、対象を管理職として実施した。(6/13)
幼児児童生徒の心のサポートの充実	東日本大震災津波による被害が大きかった地域への臨床心理士等の派遣や専門家で構成する県内大学チームによる支援、「心とからだの健康観察」の実施・活用等により、子どもたちの心のサポートに引き続き取り組む。
いじめ問題対策	自殺予防の取組、関係機関への情報提供と連携、児童生徒による取組の推進等いじめ問題への対応についての教員研修の充実や「いじめ問題解決支援チーム」の派遣等に取り組む。

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
推進 いわての復興教育の	防災教育・復興教育推進事業	①いわての復興教育スクール実践校の指定 ②岩手県防災教育研修会 ③学校防災アドバイザー派遣事業 ④防災教育に係る学校訪問 ⑤「震災の教訓を未来に語り継ぐ期間」(毎年3月11日までの1ヶ月間)の設定	①H30.3.31まで ②H29.6.13 ③H30.2月まで ④H30.3月まで随時 ⑤H30.2月～3月	①27校(小10、中10、県立7) ②学校管理職、市町村防災担当者等179名 ③全学校 ④、⑤全公立学校
教育相談体制の充実	スクールカウンセラー等配置事業	・SCの重層的な配置を行い教育相談体制の一層の充実を図る。	H29年4月～H30年3月	・幼小中高の幼児児童生徒
	スクールソーシャルワーカー配置事業	・各教育事務所にSSWを配置し、児童生徒が置かれている環境の改善に関する支援を強化する。	H29年4月～H30年3月	・小中学校の児童生徒
	スクールソーシャルワーカーの派遣	・県社会福祉士会との契約により、県立学校へSSWを派遣し、児童生徒の環境の改善に関する支援を行う。	H29年4月～H30年3月	・県立学校の児童生徒
	心とからだの健康観察	・県内全ての公立学校の児童生徒を対象とする調査。児童生徒一人ひとりの経年変化がわかる資料を提供する。	毎年9月実施	・小中高特の全ての児童生徒を対象に実施
いじめ問題対策	教員研修	・全校種の教員研修を実施する。 ・総合教育センターにおける希望研修にいじめ防止等に係る3つの講座を実施する。	H29年4月～H30年3月	・小中高特の教員
	「いじめ問題解決支援チーム」の派遣	・各学校等が抱える解決が困難ないじめ事案について、専門的な知見からの助言等を行うことにより、重大事態に至ることを防ぐとともに、各学校におけるいじめ問題への組織的対応力の向上を支援する。	H29年4月～H30年3月	・県内公立小・中・高・特別支援・義務教育学校 ・市町村教育委員会

平成 29 年度の施策に係る説明要旨（学校教育課用）

公所名 学校教育課

説明者 首席指導主事兼総括課長 中島 新

1 重点施策について（重点事項や前年度からの改善点等）

項目	内容
グローバル人材の育成	岩手の発展に貢献する人材の育成を目指し、グローバルな視点と課題解決能力、コミュニケーション能力を身に付けた生徒を育成するため、イーハトーブ・イングリッシュ・キャンプ(IEC)とホームステイ型海外研修を有機的に結びつけた事業を実施する。

2 事業計画について（重点事業2～3）

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
グローバル人材の育成	希望郷いわてグローバル人材育成事業	①イーハトーブ・イングリッシュ・キャンプ (夏IEC、秋IEC) ②政策地域部との共催による海外派遣 (留学体験・海外交流)	① H29.7.15～17、11.23～25 ② H29.10.14～29	①高校生 47名、中学生 3名、計 50名 ②高校生 10名

## 平成29年度の施策に係る説明要旨

公所名 保健体育課

説明者 首席指導主事兼総括課長 荒木田 光孝

## 1 重点施策について

項目	内容
健やかな体を育む教育の推進	○体力向上や運動に親しむ環境づくり ⇒下記① ○健康教育の充実 ⇒下記② ○指導者の資質向上・授業力向上 ⇒下記③ ○運動部活動における効果的、計画的な指導の推進
豊かなスポーツライフの振興	○学校におけるスポーツライフの振興 ⇒下記④ ○競技力向上の推進

## 2 事業計画について

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
体力向上や運動に親しむ環境づくり	①学校における子供の体力向上課題対策プロジェクト	希望郷いわて 元気・体力アップ60運動推進事業 ・対象を幼稚園に拡大して実施	通年	幼稚園・小学校・中学校
		60運動推進プロジェクト ・体力や肥満について課題を抱える学校に対して個別支援を強化	通年	実践校(小学校6校)
健康教育の充実	②学校保健総合支援事業	肥満改善・予防を推進 ・「協議会」「肥満指導資料検討委員会」及び「運動開発検討委員会」の開催を継続し、指導資料の改訂・普及を実施	6～2月	委員
指導者の資質向上・授業力向上	③民間活力による運動部活動支援体制の構築のための実践研究	中・高等学校スポーツ指導者派遣事業 ・適切な休養日の設定及び医・科学を活用した指導の普及を図ること	運動部活動	希望制
学校におけるスポーツライフの振興	④オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	オリンピック・パラリンピック派遣事業 ・国体のレガシーの継承とラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、児童生徒の運動・スポーツへの関心を高めること	通年	希望制(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)

## 平成29年度の施策に係る説明要旨

公所名 岩手県立生涯学習推進センター

説明者 所長 佐藤 寛

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
領域(1) 学習情報提供・学習相談	○HP「まなびネットいわて」のコンテンツの充実と最新情報の提供、メルマガ配信数の増加に取り組み、広報紙及びマナビィコール(電話対応)と併せて、多様な情報提供と相談対応を行う。
領域(2) 調査・研究の推進	○学校と地域の連携・協働の実態の把握及び社会教育事業の評価の課題を明らかにし、実践研究を通して「学校と地域の連携・協働のあり方」と「効率的・効果的な事業評価のあり方」の提案を行う。
領域(3) 指導者の養成・研修の充実	○市町社会教育関係職員に加え、首長部局に移管した生涯学習関係職員及び地区センター等職員の社会教育に関する資質の向上を図る。 ○地域コミュニティの再生に向けて、子どもの学びを核とした地域連携を推進する人材の育成を図る。 ○子育て中の保護者等に対して、家庭教育・子育てに係る学習機会を提供するとともに、地域の子育て支援関係者とのつながりを築く。

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
領域(1) 学習情報提供・学習相談	ホームページの管理運用	・HP「まなびネットいわて」による新鮮で有益な生涯学習情報の発信 ※H29目標：年間アクセス数 27,265件	年間	県民
	相談対応の充実	・子育てに関する電話相談・メール相談、生涯学習・社会教育に関するマナビィコールによる支援		
	情報提供の充実	・いわてマナビィマガジン(月2回) ・すこやかメルマガ(月4回) ・生涯学習情報紙(年4回)		
領域(2) 調査・研究の推進	調査研究事業	・「学校と地域の連携・協働のあり方に関する実践的研究」(1/2年次) ・「効率的・効果的な事業評価のあり方に関する実践的研究」(2/2年次)	発表会 H30.2/1-2	生涯学習・社会教育、地域づくり関係者 200人
領域(3) 指導者の養成・研修の充実	(1) センター長・公民館長・主管課長等セミナー	(1) 生涯学習・社会教育及び地域づくりを担う施設長・担当部局長における施策推進に関する研修の実施	6/16	関係職員・県民
	(2) 子どもの学びを支えるセミナー	(2) 地域コミュニティの再生に向けて、子ども学びを核とした地域連携を推進する人材の育成を図るセミナーの実施	宮古：6/9 センター：9/14 県北：10/5 沿岸南部：11/2	
	(3) 子育て・親育ちサポートサロン	(3) 悩みを抱える子育て中の保護者等に対して、家庭教育・子育てに関する学習の場の提供をするとともに保護者の方々と地域の子育てサポーターを含めた子育て支援関係者とのつながりをつくる研修の実施	中部：6/10 沿岸南部：11/2 盛岡：7/1 宮古：7/8 県北：7/22 県南：11/18	

## 平成29年度の施策に係る説明要旨

公所名 岩手県立図書館  
説明者 館長 朴澤 ゆかり

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
(1) 図書館資料の収集・整理・保存・活用	(1) 図書館資料の所蔵状況等を踏まえて「望ましい蔵書構成」のあり方を検討し、資料の収集に反映させる。
(2) 郷土資料、震災資料の次代への継承	(2) 岩手に関する資料を積極的に収集するとともに、復興局等と連携して震災資料の収集・整理、活用を図る。
(3) 図書館サービスの充実	(3) 市町村立図書館利用者を含めたレファレンスサービスの積極的な活用を促進する。
(4) 県民の読書活動の支援	(4) 読書週間を重点に標語・手づくり絵本の募集、企画展の開催など、広域の読書推進活動を展開する。
(5) 市町村立図書館等への支援と連携の推進	(5) 図書館等職員を対象とした各種研修や、運営等に係る助言等を行う。
(6) 県立図書館の円滑な運営	(6) 劣化や陳腐化が進む設備・機器の計画的更新を推進し、利用者サービスの維持・向上に努める。

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
図書館資料の収集等	・望ましい蔵書構成の達成に向けた検討及び資料収集	○図書館資料の所蔵状況や利用者ニーズなどを踏まえ「望ましい蔵書構成」の達成に向けた検討を継続するとともに、前年度に策定した資料収集方針及び資料選定基準に基づいて収集する。	年間	
図書館サービスの充実	・レファレンスサービスの充実・広域支援	○レファレンスサービスの一層の充実を図るとともに、市町村立図書館の積極的な活用を促し、県民等の情報ニーズを広域的に支援する。	年間	
市町村立図書館等への支援	・公立図書館運営支援事業 ・市町村立図書館等職員研修 ・図書館等調査研究会	○図書館等を訪問し、運営等に係る助言や支援を行う。 ○図書館等職員のスキル等の向上を目的に研修を実施する。 ○県内各地区から図書館職員を集め、図書館を取り巻くテーマについて共同で調査研究を行う。	6月～ 初任職員研修等6回 9月～12月	市町村立図書館等  テーマ(案) 高齢者向け資料の活用
県立図書館の円滑な運営	・図書館設備・備品の計画的更新	○アイーナ移転時に整備した各種設備・機器の劣化・陳腐化が進んでいることから、計画的更新を図りサービスの向上に努める。	H29.4～	・自動貸出装置 ・音と映像コーナー等

## 平成29年度の施策に係る説明要旨

公所名 岩手県立博物館

説明者 副館長 千葉 徳 郎

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
調査研究活動の推進と効果的な資料収集活動	本県の自然史・文化史の拠点として、調査研究活動について積極的に関係機関と連携し、質的向上を目指すとともに、本県の自然や人間の営みの証拠となる資料の収集活動を効果的に行い、貴重な知的県民財産を次世代へ確実に継承する。
県民ニーズを踏まえた常設展示や魅力ある展覧会の開催	調査研究活動の成果や資料収集の状況を常設展示や展覧会に反映して、魅力ある展示活動を推進し、多くの来館者の増加に繋げる。
学校教育と博物館との連携強化など教育普及活動の充実	各種学校との連携事業の実施により、小中高等学校への学習支援を促進するとともに、県内の全学校へイベント情報を提供するなど、一層の博学連携の強化に努める。 また、ホームページやSNSを活用し積極的に情報発信を行うことにより、多くの県民の利用を促し、生涯学習支援施設としての役割を着実に果たす。

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示活動	第68回企画展 「遮光器土偶の世界」	日本一土偶の多い岩手県。遮光器土偶を様々な角度から検討し用途解明に迫る。	6月3日(土) ～8月20日(日)	県民
	テーマ展 「中世の南部氏と糠部」	中世に糠部と呼ばれた地域や南部氏に関する資料を展示し、地域の特質や歴史的変遷を紹介する。	9月23日(土) ～11月26日(日)	県民
教育普及活動	講演会・講習会・観察会等の開催、学校教育との連携事業	県民の学習意欲の高揚のため各種講演会等を開催するとともに、学習効果上がるよう学校教育との連携事業を実施する。 (1) 文化講演会、地質・自然観察会、県博日曜講座等の実施 (2) 教材用資料の貸出、体験教室等の実施	随時	県民
受託事業	科学分析保存処理受託事業	東日本大震災で被災した資料の安定化処理・抜本修復を引き続き実施する。	通年	陸前高田市立博物館
文化振興事業 団自主事業	ミュージアムコンサート	音楽を通じ多様な文化活動を提供し、博物館活動を盛り上げる。	7月15日(土) 他1回(日程未定)	県民
	ナイトミュージアム	普段見ることができない夜の博物館の魅力をしってもらう。	8月10日(木) ～11日(金)	小中学生

## 平成 29 年度の施策に係る説明要旨

公所名 岩手県立美術館

説明者 副館長 小平 浩

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容
1 県民の共通財産としての将来への継承	1 県民のニーズに沿った岩手県らしい内容とともに高い集客性を見込める企画展等の開催に努め、多くの県民に国内外の優れた美術品鑑賞の機会を提供し、県民の文化芸術に対する理解を深める。また、展示に関連する各種の美術講座等を通じて、県民の美術に対する興味関心を高める。 (1) 企画展及び常設展の観覧者数(60,000人)の達成 (2) 教育普及事業の参加者数(9,100人)と満足度90%の達成
2 調査・研究等の美術館活動推進による本県評価の向上	2 芸術文化振興の拠点的機能を担う施設として学芸スタッフの力量向上を図るとともに、美術品の収集、調査・研究、展示、普及等の活動を総合的に推進する。 (1) 学芸員等の実践ノウハウの向上に資する自主企画展の開催 (2) 学芸調査員等の専門性を高めるための調査・研究機会の確保
3 県民が鑑賞・参加・創造できる環境の整備	3 優れた美術作品の鑑賞や造形活動の楽しさを体験できる環境を拡充する。 (1) 多様な広報媒体による効果的な広報活動の展開 (2) 所蔵品の画像デジタル化による検索サービス・公開等の充実 (3) 被災地や遠隔地域に在住する県民への鑑賞機会等の提供

## 2 事業計画について(重点事業2~3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
展示事業	1 企画展	1 多彩なテーマによる企画展開催 (1) 没後90年 萬鐵五郎展 (2) 川端康成・東山魁夷コレクション展 (3) 花森安治の仕事展 (4) エリック・カール展 (5) 篠山紀信展 (6) アートフェスタいわて2017	4/15 -6/18 7/1 -8/20 9/2 -10/15 10/28-12/10 12/23-2/18 3/3 -3/25	一般 *大人から子供まで幅広い年代層が対象
	2 常設展	2 県ゆかりの作家等所蔵コレクション展示	第1~4期	
教育普及活動事業	1 企画展関連 2 常設展関連 3 美術普及 4 来館者対応 5 アウトリーチ事業	1 ギャラリートーク、関連講座等 2 コレクショントーク、関連講座等 3 スタジオプログラム、教育プログラム、美術プログラム、映像プログラム 4 美術館探検、団体向け対応等 3 あーとキャラバン (遠隔地域等を訪問しての美術教育支援)	通年	一般 *内容により大人、子供、学生等に対象限定
自主事業等	1 広報事業 2 自主事業	1 美術館ニュース、各種チラシ等作成 2 美術館まつり、コンサート事業等	通年 まつり 11/3	一般

## 平成 29 年度の施策に係る説明要旨

公所名 岩手県立県南青少年の家

説明者 事務局長 野中 広治

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容						
1 主催事業、研修活動の充実	(1) 様々な利用者に対して各種の利用方法やプログラム例の提示 (2) 自然体験の魅力や団体のニーズに応える場の提供 (3) 施設ボランティア(アドバイザースタッフ)の育成と活用による研修活動の充実						
2 利用の促進	(1) 関係教育機関等との連携による効果的な利用の促進 (2) 利用者層の拡大と利用形態の多様化への対応 ・スポーツ少年団による野球・サッカーの利用、企業の職場研修レクリエーションの利用促進、出前講座の実施等 (参考～利用者数の目標と実績)						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29 計画</th> <th>H28 実績</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42,653 人</td> <td>41,008 人</td> <td>35,175 人</td> </tr> </tbody> </table>	H29 計画	H28 実績	H27 実績	42,653 人	41,008 人	35,175 人
H29 計画	H28 実績	H27 実績					
42,653 人	41,008 人	35,175 人					
3 環境の整備、充実(安全の確保)	(1) 施設、設備の点検強化と安全の確保並びに計画的な改修等 ・自主点検等のほか体育施設管理士資格者による点検・指導の実施 ・自主点検では、これまでの安全確保の視点に加え防犯視点からの点検も併せて実施 ・建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備に係る県との協議 ・安全上の注意喚起(施設への掲示・申込時の説明及び資料の配布)						

## 2 事業計画について(重点事業2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
主催	「金ケ崎歴史探訪ウオークラリー」 ※新規事業	金ケ崎町の歴史と自然に触れながら、野外活動の楽しさを体験するとともに、参加者相互の交流を図る。 内容…金ケ崎町内を巡るウオークラリー等	10月22日(日)	小学校3～6年生または中学生の子どもを持つ家族 (20家族40名程度)
自主	3施設連携事業 「親子 de チャレンジ!」	体験活動を通して親子のふれあいを高め、同行家族との親睦を深めるとともに、郷土の素晴らしさを知る。 内容…親子で創作体験、平泉フォトアドベンチャーラリー等	9月30日(土) ～10月1日(日)	小・中学生の子どもを持つ家族 (1施設あたり7家族28名程度)
主催	宿泊通学合宿	日常の家庭生活とは切り離れた環境で、異なる学年同士での共同生活や体験活動・学習活動を行い、人と関わる力や集団生活のマナー、基本的な生活習慣の育成を図る。 内容…アイスブレイク、創作活動等	11月19日(日) ～23日(木)	小学校4年生～6年生まで (30名程度)



## 平成 29 年度の施策に係る説明要旨

公所名 岩手県立陸中海岸青少年の家

説明者 事務局長 野中 広治

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項 目	内 容						
1 主催事業・活動 内容の充実	(1) 地域の復興に合わせた海を利用した活動の拡大 (H29 年度は海水浴のみ復活) (2) 地域の人材、関係団体との更なる連携と利用者ニーズを踏まえたプログラムの企画						
2 利用の促進	(1) お客様管理によるリピータの確保と高齢者の利用拡大 ・ 事業参加者へのダイレクトメールによる各種事業案内 ・ 高齢者団体の新規開拓 「みちのく潮風トレイル」を活用した事業の実施 (2) フェイスブックとブログによる広報の継続 (参考～利用者数の目標と実績)						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29 計画</th> <th>H28 実績</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28,151 人</td> <td>29,790 人</td> <td>29,790 人</td> </tr> </tbody> </table>	H29 計画	H28 実績	H27 実績	28,151 人	29,790 人	29,790 人
H29 計画	H28 実績	H27 実績					
28,151 人	29,790 人	29,790 人					
3 環境の整備充実 (安全の確保)	(1) 施設、設備の点検強化と安全の確保並びに計画的な改修等 ・ 自主点検等のほか体育施設管理士資格者による点検・指導の実施 ・ 自主点検では、これまでの安全確保の視点に加え防犯視点からの点検も併せて実施 ・ 建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備に係る県との協議 ・ 所外での活動(沢、山、海など)における十分な安全対策の実施 (避難経路の確認や申込時の説明等)						

## 2 事業計画について(重点事業 2～3)

領 域	事 業 名	趣 旨・内 容	期日・期間	対 象・人 数
主 催	「海釣り道場」	・ 三陸の自然の中で、海釣りの醍醐味を味わい、参加者相互の交流を深める。 ・ 船釣り(初心者)、堤防釣りなど	5月6日(土) ～7日(日)	小・中・高校生 その保護者、 釣り愛好家 30名程度
自 主	「ワンダフルネイチャー①鯨山登山」	・ 登山を通して美しい三陸の海や山を味わう。「潮風トレイル」のルートの一部を歩く。	4月22日(土)	一般 40名程度
主 催	「マリンランド陸中自然体験塾①海の子野外教室」	・ 自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にすることを育み、参加者相互の交流を図る。 ・ 海水浴、いかだ遊び、テント泊、ナイトハイク、沢登りなど	8月2日(水) ～4日(金)	小学生 5・6年生 30名程度

## 平成 29 年度の施策に係る説明要旨

公所名 岩手県立県北青少年の家

説明者 事務局長 野中 広治

## 1 重点施策について(重点事項や前年度からの改善点等)

項目	内容												
1 主催事業・研修活動の充実	(1) 親子参加事業の充実 (2) 様々な利用団体のねらいに応じた活動支援 (3) 高校生ボランティアの確保・育成												
2 利用促進	(1) 親子での体験活動の機会の増加 (2) 広報活動の強化 ・ホームページ、フェイスブックによる施設広報・利用促進 ・訪問活動、チラシ配布、地元FMラジオへの生出演、国道沿いにある施設入口への事業案内掲示、地元広報紙による事業案内及び利用案内 (参考～利用者数の目標と実績)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 計画</th> <th>H28 実績</th> <th>H27 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修利用</td> <td>30,721 人</td> <td>36,134 人</td> <td>32,396 人</td> </tr> <tr> <td>スケート場</td> <td>19,610 人</td> <td>17,263 人</td> <td>20,747 人</td> </tr> </tbody> </table>		H29 計画	H28 実績	H27 実績	研修利用	30,721 人	36,134 人	32,396 人	スケート場	19,610 人	17,263 人	20,747 人
	H29 計画	H28 実績	H27 実績										
研修利用	30,721 人	36,134 人	32,396 人										
スケート場	19,610 人	17,263 人	20,747 人										
3 環境の整備・充実(安全の確保)	施設・設備の点検強化と安全の確保並びに計画的な改修 ・自主点検等のほか体育施設管理士資格者による点検・指導の実施 ・自主点検では、これまでの安全確保の視点に加え防犯視点からの点検も併せて実施 ・建物・設備の老朽化に伴う計画的な整備に係る県との協議 ・安全上の注意喚起(施設への掲示・申込時の説明及び資料の配布)												

## 2 事業計画について(重点事業 2～3)

領域	事業名	趣旨・内容	期日・期間	対象・人数
主催	①ステラパル冬遊塾 ※新規事業  ②ウィンタースクール	①小学 3 年生以上の仲間づくり・冬の体験活動(スキー・スケート・創作活動) ②小学 1・2 年生の仲間づくり・冬の体験活動(雪上遊び・科学遊び・プラネタリウム)	①1月9日(火)～11日(木)  ②2月3日(土)～4日(日)	①小学生 3～6 年生 40 人程度 ②小学生 1・2 年生 40 人程度
主催	プラネタリウム鑑賞デー	季節の星座の紹介など、プラネタリウム鑑賞を通して、天文や宇宙への興味を喚起する。他の事業との同日開催とする。	①7月2日(日) ②9月23日(土)(秋分の日) ③12月17日(日)	子どもから大人まで 1日3回開催 各回50人程度
自主	ステラパル冬まつり	冬ならではの体験活動を通して青少年の家への理解と親しみを深め、参加者相互の交流を図る	2月18日(日)	子どもから大人まで 定員なし

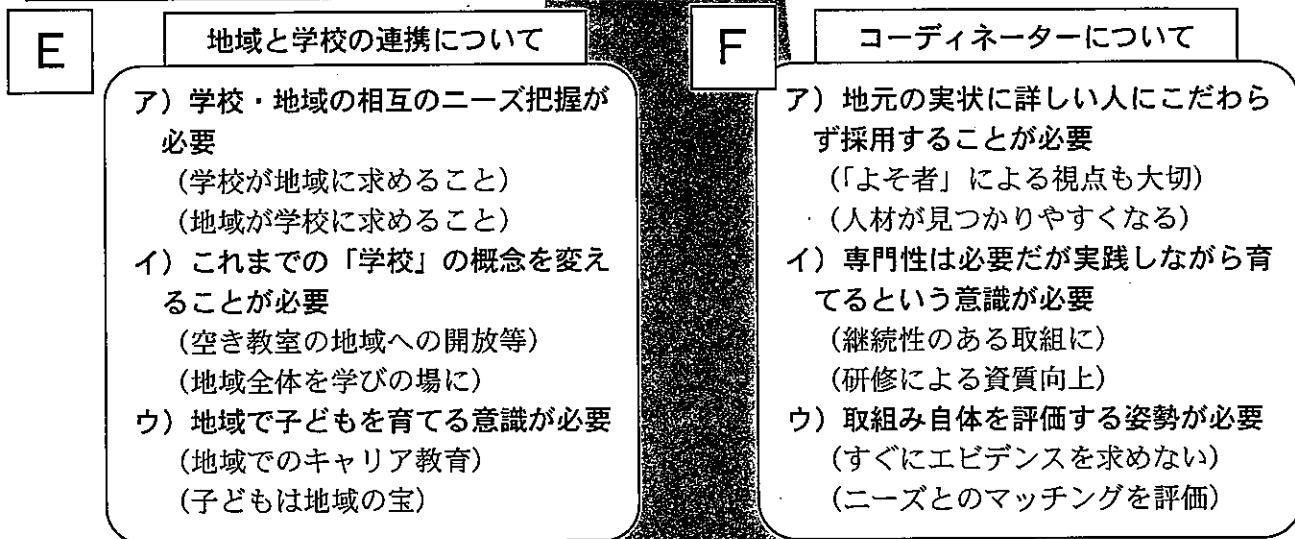
## 協議（2）今後の重点施策について

『学校を核とした地域創生 ～学校と地域の連携・協働の在り方と推進方策について～』

## 1 H28 第1回会議の協議で出された視点



## 2 H28 第2回会議の協議で出された視点



## 3 いわて地域学校連携促進事業【新規事業】

## ○目的

学校を取り巻く諸問題に地域全体で対応し、教育効果を高めるため、地域・学校の連携強化を支援し、学校が地域の人々と目標を共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「教育振興運動」や「コミュニティ・スクール」の推進を支援する。

## ○方針

- (1) 各学校の取組に関する学校評価の実施・公表とともに、その結果を活用した学校経営の改善の取組を一層推進する。
- (2) 学校と地域の実情に応じた、より適切で効果的な連携を進めることができるように、これまでの「教育振興運動」と「いわて型コミュニティ・スクール」の連動した取組をさらに推進する。
- (3) 地域学校協働活動（下校指導、各教科の学習支援等、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。教育振興運動の内容もこれにあたる。）を促進し、地域人材の参画や社会教育施設の活用による教育活動の充実が図られるようにする。
- (4) 今年度より新たに「地域学校連携担当」を設置し、学校が地域と目標を共有し一体となって子どもたちを育む「いわて地域学校連携促進事業」を進め、学校と地域の連携・協働を推進していくための仕組みや方策について共通理解が図られるよう取組を展開していく。